

実施結果報告書

| | | | | | |
|--|------|---------|---|--------|------|
| 1. 学習名称：身近な公共交通機関からアクセシブル・デザインを考えよう | | | | | |
| 2. テーマ：身近な交通機関の問題点を調べて意見を発表しよう | | | | | |
| 3. 実施教科：総合的な学習 | | | | | |
| 4. 関連単元：総合学習（課題別学習） | | | | | |
| 5. 実施単元数：20 時間 | | | | | |
| 6. 学年 | 3 学年 | 7. クラス数 | 1 | 8. 生徒数 | 10 名 |
| <p>9. 実施内容</p> <p>課題別学習「アクセシブル・デザインを探そう」は、アクセシブル・デザイン（共用品）の定義を理解し、広義のバリアフリーについて認識を深める学びである。本来バリアフリーの概念には、物理的なバリアの他、情報・経済・意識のバリアの解消も含まれるが、物理的なバリア以外は抽象的で中学生にとっては捉えにくい。アクセシブル・デザインは「誰もが使いやすい」ことを目指す中で「使いにくさ」すなわち「バリア」を認識する過程が必要であり、テーマを決め問題を明確化し解決策を探る探究的な市民性育成のための学びに即している。「使いにくさ」の発見は、日常的に用いているものほど印象が強まるため、モビリティ・マネジメント教育の視点に立ち、公共交通機関と周辺施設の動線をテーマとして、より使いやすい公共空間のありかたを考える単元として設定した。既にモビリティ・マネジメント教育は、シティズンシップ（市民性）教育に資することが明らかにされている（藤井聡ほか「モビリティ・マネジメント教育」『土木学会教育論文集』vol. 1, 2009）。この前提に立ち、交通環境学習を通して公共施設・設備を利用・観察し、動線上の問題点と改善策を探る中で身近な社会に問題意識を持つことをめざした。具体的には、生徒が、外国人・障害者・高齢者・ベビーカーを押す母親等といった視点に立って、学校周辺の交通機関を利用し、使いやすさと使いにくさを記録し互いに共有する活動を続けた。そして最後に活動で得られた問題点と意見をポスターとパワーポイントの両方にまとめ、3・4学年の合同発表会の中で報告した。フィールドワークと事後報告での連続的な対話を通して、生徒個々の認識が深まり変容する様子を、ワークシート・記録において確認した。このことから、本学習は市民社会に主体的・探究的に参画する能力を育む上で有意義であるという結論を得た。</p> | | | | | |

10. 学習のながれ：

【前期：4月から9月まで】

1. 学校内および近隣公園のバリアフリー設備を確認し、使えない設備があることを知る。前期と後期で各1作品ずつ映画を鑑賞し、差別意識について考える。
2. アクセシブルデザイン（共用品）の定義を確認し、更にカラーユニバーサル・デザインのポスター制作を通して顕在化しにくい情報のバリアの存在を知る。
3. 移動に困難を抱える立場の方の視点を個々に選び、徒歩又はバスを利用して学校と都庁を往復するフィールドワークを行う。また同様に、視点を決めた上で羽田空港のフィールドワークを行う。事後に各自が記録を元に情報共有を行う。

ここまですを前段階の学習として実施した。前期までの時点では認識が浅く、単純な設備に注目した報告例が多く見られた。半年間のまとめでも、調べて得た情報や知識をそのままポスターにまとめるものも多く見られた。

【後期：10月から2月まで】※本助成金による実践

1. パラリンピックスポーツに関する書籍を手がかりとして、障碍に応じた多様な階級やルールが存在することを確認し、校内で実際にボッチャを体験する。
(4時間)
2. パラリンピックスポーツイベントに参加し、スポーツ義足、車椅子バスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカーを体験し、パラリンピアンのお話を聞く。体験を通して障碍の有無に関係なく楽しめるパラリンピックスポーツの魅力を知り、より理解を深めると同時に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで多くの外国人や障碍者が東京を訪れることへの問題意識を新たにす。
(4時間)
3. 自分で学校近隣駅の中から一つを選び、移動経路を考えて往復するフィールドワークを行う。記録に基づく報告会に加え、新聞のバリアフリーに関連する特集記事を読んで理解を深める。
(4時間)
4. 新宿駅を中心に、自分自身で問題意識を持ちつつフィールドワークを行い、学校に戻った後、記録を元にレポート（報告文）をパソコンで完成させる。フィールドワークを2回行う中で、参考図書などにより更に考えを深め、1年間のまとめのレポートを作成する。
(6時間)

【まとめの作業：3月】

年度の最後に各自でポスターを制作し、3・4学年合同で行う発表会でポスター展示と発表を行う。年間の学習の概要と要点をパワーポイントで発表した後にポスターを紹介し、同年代の生徒からも高評価を得た。

(2時間)

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。